

## 2024（令和6）年度活動計画について

### （1）方針

- ① 修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究しより良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ② 連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③ 関係機関・団体と連携・協力を積極的に進め、適切な情報収集と発信等を適宜行い、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

### （2）活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行の展開を目指す。

### （3）活動の大綱

#### ① 会議等の日程

	会議名	予定内容	開催予定日	時間	会場（暫定）
関修委が主催する会議	総会 第1回運営協議会	組織・役員体制の決定 年度計画の審議・決定 他	6月5日（水）	13:30	奈良まほろば館 2階会議室
	第2回運営協議会	修学旅行の実施状況の報告、 2026年度輸送申込状況の報告 他	10月2日（水）	～	九段南ビル 4階会議室
	第3回運営協議会 JRと意見交換会	2026年度輸送計画策定状況報告 JR各社との意見交換会を開催	11月12日（火）	17:00	九段南ビル 4階会議室
	役員代表者会	2025年度年間活動計画の策定 他	2月14日（金）	※一部、 時間帯 相違	九段南ビル 4階会議室
	第4回運営協議会	2024年度活動の総括 2025年度活動計画、事例発表	2月25日（火）		九段南ビル 4階会議室
全修協が主催する会議等	首都圏3地区（東京・神奈川・関東5県）校長会 修学旅行委員会 連絡会（第1回） （陳情計画、意見・情報交換）		6月25日（火） ※暫定	14:30 ～ 16:30	九段南ビル 4階会議室
	第41回全国修学旅行研究大会 （修学旅行の調査研究発表・シンポジウム）		7月23日（火）	13:30 ～ 16:30	学士会館
	三地区（関東・東海・近畿）修学旅行委員会 連絡会 （修学旅行に関する意見・情報交換）		2025（令和7）年 1月15日（水） ※暫定	14:00 ～ 16:30	都内（未定）
	首都圏3地区（東京・神奈川・関東5県）校長会 修学旅行委員会 連絡会（第2回） （修学旅行の実施状況報告、意見・情報交換）		2025（令和7）年 1月24日（金） ※暫定	14:30 ～ 16:30	九段南ビル 4階会議室

#### ② 会議出席者

- ・総会・運営協議会：会長、副会長、運営委員（各県2名、さいたま市1名、千葉市1名）  
（定数17名）
- ・役員代表者会：各県1名、さいたま市1名、千葉市1名  
（定数7名）

③ 県別の役割分担表 【2024（令和6）年度～2028（令和10）年度】

	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度
会長選出県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
運営委員長	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
〃副委員長	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県
事例発表県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県

(4) 計画輸送について

① 2024（令和6）年度輸送計画の実施

2024（令和6）年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）

挙行日時：2024（令和6）年5月8日（水）午前7時20分～7時35分頃

参加予定：7時51分東京発「のぞみ号」乗車校

さいたま市立土合中、上尾市立瓦葺中、入間市立金子中、深谷市立岡部中

神川町立神川中、久喜市立栗橋東中、久喜市立鷲宮西中 全7校/1,096名

※関修委を代表しての挨拶は、関修委役員の校長先生（埼玉県）でお願いします。

② 計画輸送の利用校拡大

2024（令和6）年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレット等をもとに各学校への啓発に努める。

③ 2026（令和8）年度輸送計画の策定

計画輸送（連合体）の理念、趣旨等の理解に一層努め、各校が協力し合い全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるように努めるとともに実施時期の平準化に最大限取り組んでいく。

- a 申込み受け付け対象校から国立・県立・市立高等学校の附属中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校は原則としては除外する。
- b 関西Bコースの利用促進の依頼を行う。また、コースの利点をより増すために、JRに対して、30分早い出発と30分遅い帰着を働きかけていく。
- c 北海道・東北（山形・秋田）・上越・北陸方面の新幹線利用の拡大を図る。
- d 利用申込みの段階で、東京駅までの継走列車の利用を明確化する。
- e WEBシステムによる「輸送申込システム」を初めて稼働する。  
申込みの際し、各学校に対して正確な入力と期日厳守を働きかける。

◎計画策定の作業日程

6月	5日	総会・運営協議会①	2026年度輸送計画の要項を決定、説明
6月	中下旬	各県委員会（部）出席	輸送申込み全般の説明、必要書式配布（各県）
6月	25日	申込システム稼働開始	この日以降、各校による入力が可能となる
7月	26日	各校の入力締切	2026年度輸送申込締切 ※未入力校へ督促（事務局→各県→未入力校）
8月	8日	申込システム稼働終了	この日以降、各校による入力は不可となる
8月	30日	申込データの集約	申込集計表（データ）送付（事務局⇒各県）
9月	中旬	計画策定開始	事務局にて割付原案の作成開始
10月	2日	運営協議会②	2026年度輸送計画申込み状況等を報告
10月	中下旬	各県チェック	割付原案による抜け落ちチェック（各県）
11月	12日	運営協議会③	2026年度輸送計画策定の途中経過を報告
11月	25日	2026年度輸送計画発表	当日正午、全修協HP上で公開 ※東京都、神奈川県との発表と同日
※2月	7日	JRへの団体申込締切	JR「団体旅行申込書」を旅行会社経由で提出

## (5) 調査研究活動について

### ① 調査研究の継続と充実

- a 実施状況調査：修学旅行実施の基本調査を中心に、WEB 回答での調査を行う予定。
- b 研究発表会：関修委独自での研究発表会は開催しないが、全修協主催の「修学旅行研究大会」への積極的な参加をお願いする。
- c 実践事例発表：第4回の研究協議会・研究委員会の席上で、当年度又は前年度実施の修学旅行1例の事例発表を行う。(発表県は茨城県)

### ② 現地研修会の実施

修学旅行の充実のために、先生方の現地視察及び研修を計画、実施する。

<研修の方面候補>

- a 東北方面修学旅行現地研修会：東北の歴史と文化、自然、体験学習、震災学習、世界遺産等の視察、体験学習及び宿泊施設等の視察
- b 北陸3県修学旅行現地研修会：富山県、石川県、福井県における、それぞれの歴史と文化、伝統、体験学習及び宿泊施設等の視察
- c 北海道方面修学旅行現地研修会：北海道の歴史と文化、SDG s等を始めとする教育旅行プログラムの提案と宿泊施設等の視察

<日程案>

現時点で未定だが、7月下旬～8月中下旬の土・日・月を含めた日程で検討する。

## (6) 陳情・要請活動について

### ① 2025(令和7)年度分修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情を行う

◎国庫補助金の増額陳情額(案)(単価・円)

項目	学校種別	現行の補助金額	2025年度要望額	増額分	
修学旅行	中学校	60,910	65,000	4,090	
	小学校	22,690	30,000	7,310	
校外活動	中学校	宿泊あり	6,100	10,000	3,900
		宿泊なし	2,270	5,000	2,730
	小学校	宿泊あり	3,620	10,000	6,380
		宿泊なし	1,570	5,000	3,430

※陳情の実施は、7月下旬を予定している。

### ② 計画輸送に関する改善点を要望していく

<重点要望事項>

- a 継走列車の東京駅直接乗り入れ及び継走特急列車の割引適用
- b 関西Aコースの出発時間の繰下げ(30分程度)
- c 関西Bコースの出発時間の繰上げ(30分程度)と東京帰着時間の繰下げ(30分程度)、これに接続する継走列車の運行
- d 感染症や不測の事態(自然災害や事故)等発生時における迅速・適切な対応と情報提供

<その他要望事項>

修学旅行実施を終了した学校からJR各社に対する要望事項等を集約した中から、新たな課題と認識される事項について申入れを行うとともに、委員及びJR各社で共有する。